

# NO！リニア

No. 93

2016年6月15日

JR東海労働組合  
リニア反対プロジェクト

## 財政投融資の受け入れは政治介入だ！ リニア大阪延伸前倒しについて申し入れ！

安倍首相は6月1日の記者会見で、リニア中央新幹線の大阪延伸の時期を従来計画の2045年度から前倒しする方針を表明し、マスコミは「政府とJR東海は最大8年間前倒しする方向で調整を進めており、成長戦略の目玉と財政リスクの低減の思惑が一致した形で、JR東海は財政投融資を受け入れる方向に転じた」などと報じました。

会社はリニア中央新幹線建設について、変更があればその都度労働組合に説明するとしてきましたが、この件について会社から労働組合に一切の説明はありません。JR東海労は6月13日、「リニア中央新幹線建設」報道に関する申し入れ（『申第2号』）を提出しました。

申し入れ内容（趣旨）は、以下の通りです。

1. マスコミの報道は事実なのか明らかにすること。
2. 「財政状況の悪化を懸念し、先行開業時に抱える5兆円の債務を8年かけて大幅に減らした後、延伸工事に着手する」方針に変更があったのか明らかにすること。
3. 財政投融資によって低金利の資金が融資されることになれば、東京～大阪間の同時建設は短期間で莫大な建設費が必要となる。今後の資金計画、建設予算を明らかにすること。
4. 「公的資金が入ると国や自治体が主張を強め、工事に時間がかかる場合もある」「技術的に難易度が高い工事もあり、実際何年前倒しできるかは見通しが立たない部分がある」との指摘がある。これに対する会社の考えを明らかにすること。
5. 財政投融資は、国債の発行により債権者に負担を強いることになりかねない。安倍首相の政治的な思惑にJR東海・リニア中央新幹線が使われることは、「国鉄」が政治介入によって破産させられ、当時の職員の雇用不安を招いたことを想起する。

リニア中央新幹線への財政投融資の受け入れは、政治介入である。財政投融資の受け入れはやめること。リニア中央新幹線建設を中止すること。